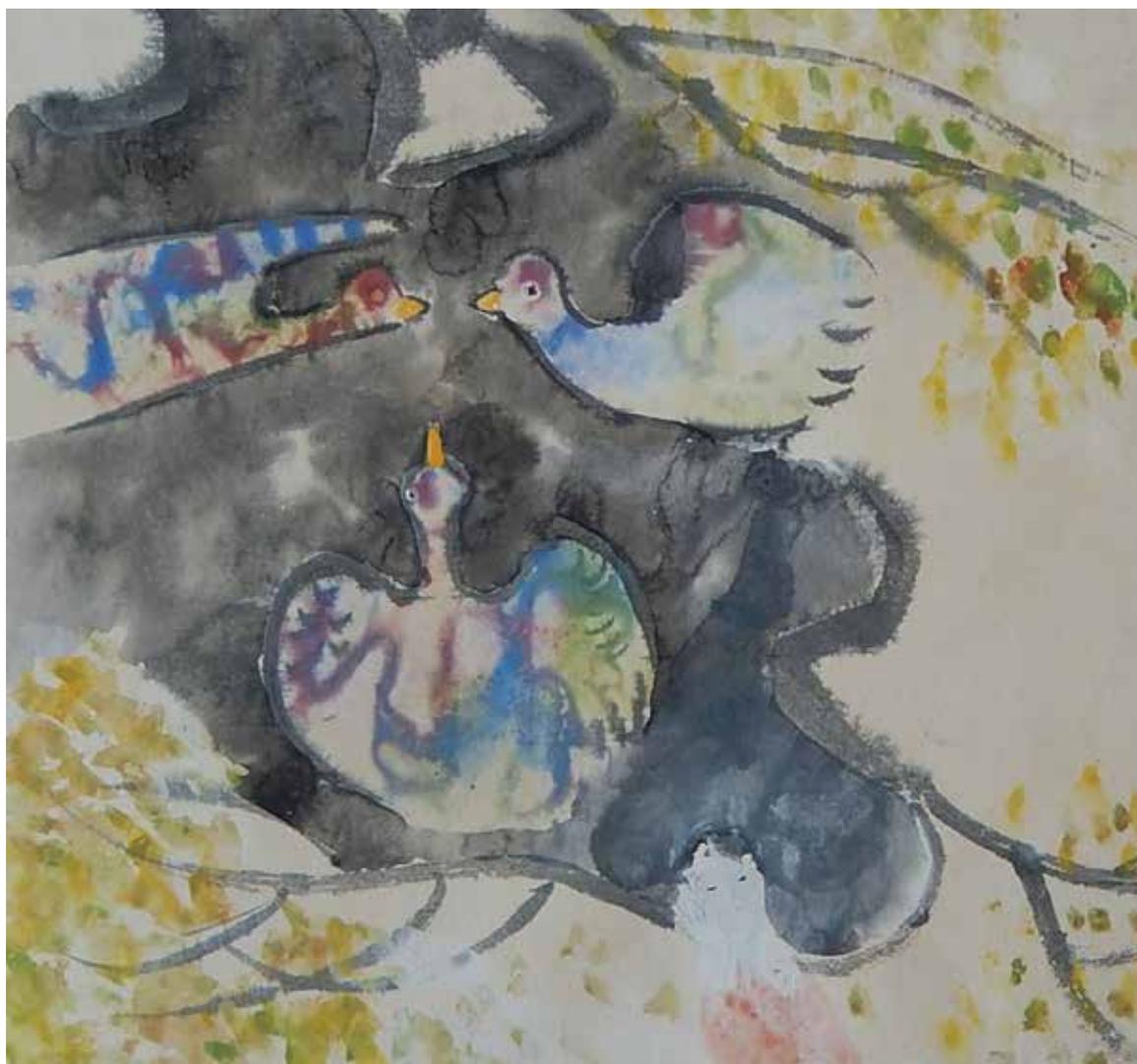


# 図書館の窓から



2015.4 No.148

---



絵本原画「赤神と黒神」より ©丸木位里

## 【特集記事】

- ◆私の一冊      ごぜ研究者・元長岡市立科学博物館館長   鈴木 昭英 さん … 3 p
- ◆図書館の10の新サービスをご案内します！ …………… 4、5 p

# 館長通信

## 図書館と周年行事～4年後の開館100周年をどう迎えるか～

平成26年は、中越大震災10周年、新潟地震50周年、関東大震災90周年と災害に関わる節目が重なった年でした。中央図書館文書資料室では、中越大震災10周年「災害と復興をかたりつぐ」事業を実施し、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国に発信しました。

平成27年は、1月に阪神・淡路大震災20周年、4月に平成の合併10周年（1次）を迎え、8月には戦後70周年が来ます。中央図書館では、7月～8月に合併10周年を記念した企画展を美

術センターで開催するとともに、戦災復興関連資料の展示も企画しています。

市内の小中学校では、毎年どこかで「創立〇周年記念」の式典が開催されています。周年行事と呼ばれているもので、日本人は周年行事が大好きなのか、毎年、何かしらがやってきます（西洋と東洋の両方の捉え方が日本にあるためでしょうか）。

図書館にとっての大きな節目は、平成30年の長岡市立図書館開館100周年です（大正7年に野本恭八郎の寄付で、東坂之上町

に互尊文庫が開館してから100周年を迎えます）。

野本恭八郎ら先人たちが図書館に込めた期待や戦災にあった図書館を復活させた市民の篤志、そういった歴史と伝統を継承していく大切な機会にしたいと思っています。

そのため100周年の事業は、資料収集、整理、保管、公開という、図書館が今まで地道に行ってきた取り組みの延長上に位置付け、奇にとらわれない、長岡らしいものにしたいと考えています。（金垣 孝二）

## 文書資料室だより

「長岡市災害復興文庫」を全国発信！  
～盛岡・神戸・いわき・南相馬・山形～

文書資料室は、平成26年10月に「長岡市災害復興文庫」（以下、「文庫」）を開設しました。中越大震災後に家屋・土蔵から救出した「被災歴史資料」19,095点と、避難所・学校・コミュニティセンター・市役所各課等から収集した「災害復興関連資料」6,651点、合計25,746点の所蔵資料から構成されています。

「文庫」開設に至るまでの取り組みは、今まさに災害対応を進める全国の関係機関から、経験・教訓の発信を求められています。昨年8月の岩手県庁、今年1月の神戸大学附属図書館、いわき市生涯学習センター、2月の南相馬市博物館、3月の山形

県生涯学習センターを会場にした関係機関・団体主催の講座・研修会に講師を派遣しました。

神戸市での講座は、震災資料の整理方法をワークショップ形式で紹介。阪神・淡路大震災から20周年を迎え、新しい職員に整理のノウハウを伝えてほしいという依頼に応えたものです。また、南相馬市での講座は、「文庫」のうち長岡市内の東日本大震災避難所から収集した資料を展示。震災から4年を迎えた福島県で、災害を次世代に継承する取り組みを開始した「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」（事務局：福島県立博物館）の活動に協力しました。

なお、盛岡市での講座の動画は国立国会図書館の東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」のホームページで閲覧できます。

中越大震災から11年。今年度は、阪神・淡路大震災、東日本大震災の被災地の関係機関との連携成果を長岡市民に発信し、「文庫」をさらに深化させることが目標です。（田中 洋史）



▲南相馬市博物館での避難所資料の展示（平成27年2月22日）

# 私の一冊

ごゼ研究者・元長岡市立科学博物館館長

鈴木 昭英 さん



『瞽女 盲目の旅芸人』

斎藤 真一／著

日本放送出版協会

斎藤真一 一画家であるが、越後頸城の山野を跋涉し、瞽女の足跡や境涯を尋ねてその一部始終を記録にとどめた。かつキャンパスの上にも表した。主題を心行くまで追求する正真の作家であった。

私が大阪の博物館を辞して郷里長岡に帰り、市立科学博物館に勤務したのは昭和44年7月のことでした。さしあたっての仕事は、郷土史料館の1階に「雪国の民俗展示」を開設することでしたが、それは翌年3月末に完了したので、自分の調査研究を何にしようかと考えたとき、まず浮かんだのは越後瞽女でした。瞽女の存在は知っていましたが、瞽女は盲人だから記録を残さず、その実態は必ずしも明らかになっていませんでした。

昭和45年6月から、まず長岡瞽女の調査に入りました。進めていくうちに、ほかにもこれまで知られていない瞽女の組集団が幾つも浮かび上がり、越後瞽女の奥行きを深さをつくづく感じました。ところがその調査のさなか、私より4年も前から頸城の浜通りや山峡の地、平野部や山間部に入って高田瞽女の調査をしておられる方がいることを知り、仰天いたしました。それは斎藤さんが著した『瞽女 盲目の旅芸人』（日本放送出版協会、昭和47年5月刊）によってです。もちろんその内容は、私とは視点の異なるものや関心分野の相違するところもあります

が、私が成し得ないものも含まれ、教えられたことが少なくありませんでした。

斎藤さんが業績を上げた背景には、高田瞽女の親方杉本キクエさんの恩顧があったことを忘れるわけにはいきません。高田の東本町4丁目に家を構えるキクエさんのもとを斎藤さんが初めて訪れたのは昭和39年12月のこと。それ以来およそ10年にわたり、たびたび杉本家に立ち寄り、高田瞽女や瞽女宿のことなどを聞き取りされました。斎藤さんはその当時静岡にお住まいで、高校の教師をなさっていましたが、学校が休暇に入ると瞽女取材のため越後に足を運ばれたのです。「キクエさんに会って瞽女社会の人情をしっかりとキャンパスの上に表し、記録にとどめたいと思うようになった」と述べておられます。

斎藤さんは、観念というものを否定し、盲目の旅芸人瞽女の声を含めありのまま記録することに努められたのです。観念には私情が入り、個人によって見方が異なります。私はこの考え方に賛成です。実態の開頭は永遠に価値を失わないと思います。



鈴木 昭英（すずき しょうえい）

真宗大谷派長福寺住職。1932年、長岡市生まれ。1969年、長岡市立科学博物館主査、1973～1992年、同館館長。退職後は、上越教育大学、新潟大学、長岡造形大学で講師を務める。現在は、長岡市文化財保護審議会委員長、瞽女唄ネットワーク会長、瞽女文化を顕彰する会理事長、福島町貞心尼思慕会会長などで活躍。主な著書に『瞽女』、『越後瞽女ものがたり』『越後・佐渡の山岳修験』などがある。

# 図書館の10の新サービスをご案内します！

新サービスを利用して、これまで以上に図書館を楽しく活用してみませんか？  
ご不明な点は図書館職員までお問い合わせください。

## ホームページが新しくなり、Webサービスの種類が増えました！

図書館ホームページが新しくなり、パスワードを登録することで、様々なサービスを利用できます。パスワードの新規発行は、図書館の窓口でお申し込みください。

(※個人情報保護のため、パスワードの定期的な変更をお勧めします。)

### ①予約申込が簡単になりました！

予約かごを使用した複数資料の同時予約ができるほか、資料の検索結果画面から、直接予約できるようになりました。

(※Webでの予約は最大15冊まで)

### ②本のデータを管理できるようになりました！

「Myライブラリ」では「仕事の本」「心に残った本」など、お好きなテーマで仮想本棚を作成し、資料検索結果画面等から本の情報を保存・管理できます。

### ③各種期限をメールでお知らせします！

返却期限や予約資料の取置期限をメールでお知らせします。設定は利用者情報変更画面にて行います。また、メールアドレスを複数登録してメールの配信先を個別に指定することもできます。

### ④新着資料をメールでお知らせします！

Myライブラリ内のSDI(新着図書お知らせサービス)にてキーワードを登録すると、関連する資料が図書館に入った際にメールでお知らせします。

### ⑤貸出履歴を調べることができます！

「Myライブラリ」内の利用者情報変更画面から貸出履歴を「残す」に設定することで、自分の借りた資料の履歴を調べることができるようになります。

(※調べることができるのは設定した後に借りた資料になります)

※図書館システムのリニューアルに当たり、いくつかの不具合があり、利用者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。順次改善に努めて参ります。



▲図書館ホームページの新しい画面です。シンプルで見やすい構成としました。各種サービスは右上の「Myライブラリ」よりご利用いただけます。(※デザインが変更される場合があります)

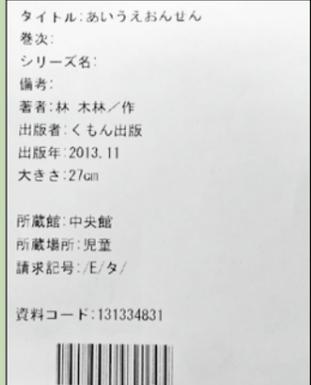


▲館内OPAC(検索機)の新しい画面です。イラストを多く使い、親しみやすいデザインとしました。

### ⑥館内OPAC(蔵書検索機)で資料情報のレシートが印刷できます！

館内OPACにて右のレシートを印刷し、カウンターにご提示いただくことで、お探しの資料をご用意できます。

また、ご自身で資料を探す際にもメモとして活用できます。



### ⑦貸出レシートに延長手続きした資料も記載されます！

借りた資料と貸出延長手続きをした資料の返却日を一度に確認できます。延長手続きを行った資料には返却期限の右側に印が付きます。

### ⑧図書館内にセルフ貸出機が設置されました！

ご自分で貸出ができるようになりました。ぜひお試しください。

(※大津地区図書室を除く。一部資料の貸出や予約資料の受取はできません。)



### ⑨国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始しました。

中央図書館にて、国立国会図書館所蔵の昭和43年以前に受入された図書など貴重な資料約138万点が収められたデータベースを、パソコンで閲覧・複写できるようになりました。

(※利用できるのは長岡市立図書館の貸出カードをお持ちの方に限ります。)

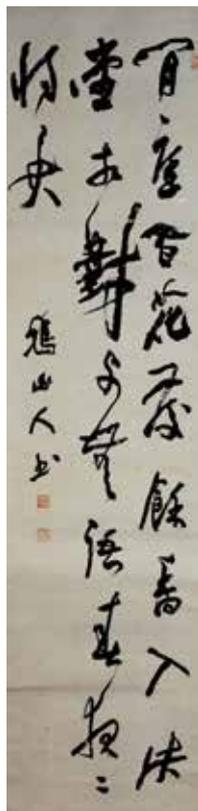
複写は白黒1枚10円、カラー1枚50円)

### ⑩全ての図書館でインターネットが使えます！

各市立図書館で、インターネットを使った調査ができます。ご利用の際はカウンターまでお申し出下さい。

(※大津地区図書室を除く。また、1回の利用は30分間。コピーやUSBメモリの使用は不可)

## 所蔵資料紹介 No.144 松岡讓 書



間庭百花発  
余香入此堂  
相对与無語  
春夜々将央  
鴉山人書

間庭百花ひらき  
余香この堂に入る  
相对してともに語無し  
春夜夜まきになかばならんとす

\*間庭Ⅱ・静かな庭  
\*余香Ⅱ・かすかな香り  
・忘れられない受けた恩恵

松岡讓（1891～1969）は明治24年、長岡の寺院に生まれました。旧制長岡中学校の出身で東京帝国大学哲学科で学びながら、大正のはじめ、夏目漱石と出会い影響を受けます。その後、漱石の娘筆子を人生の伴侶に迎え、松岡は生涯、文学者として自分の信じる道を歩いて行きます。

ここに紹介する五言絶句は良寛和尚の作で、支援者であり親交の深かった分水町の庄屋、阿部定珍を訪ねた折に詠んだものです。

雪国の長い冬を越えて、ようやく芽吹いたつぼみがいっせいに花ひらき、甘く淡い香りが座敷のそこここに漂ってきます。春の宵に身をゆだねる良寛。向かい合う定珍との信頼関係や、春を祝う満ち足りた気持ちが伝わってきます。

松岡は後年、悠久山の一角に居をかまえました。長岡の冬は思索や執筆には向くものの、雪に閉じ込められ、辛抱を強いられもします。長岡人にとって、寒さを耐え忍んだあとに必ずめぐり来る、春という季節は特別なものです。

良寛の詩文に親しみ、慰められた松岡は、この詩に共感して筆を揮ったのでしょうか。なかなか判読しにくい書跡ですが、口ずさんでみると、春の夜の懐かしい匂いに、ふんわり包みこまれるようです。

（小熊よしみ）

## 越後文学さんぽ ～新潟出身の作家をクローズアップ～

### 阿刀田 高 （あとうだ・たかし）（1935-）

東京出身。1944年夏、仕事の関係で長岡にいた父のもとへ小学4年時に東京から疎開。四郎丸小学校、南中学校を卒業し50年3月まで長岡在住。高校進学のため上京、早稲田大学文学部仏文科卒業。国立国会図書館に司書として11年間勤務。78年『冷蔵庫より愛をこめて』でデビュー。79年『来訪者』で日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で第81回直木賞、95年『新トロイア物語』で吉川英治文学賞を受賞。『ギリシア神話を知っていますか』など著作多数。2003年紫綬褒章、09年旭日中綬章受章。前日本ペンクラブ会長。12年山梨県立図書館長就任。（参考：『新訂 作家・小説家人名事典』日外アソシエーツ、『新潟県文学全集 第1期／小説編』第7巻 田中栄一ほか／編 郷土出版社、『長岡商工人 百年の軌跡』長岡商工会議所／発行 山梨県立図書館HP）

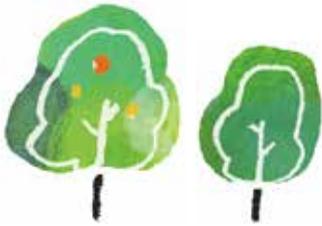


『小説工房12ヵ月』  
阿刀田 高／著  
集英社

本書は、新潟日報に連載されていた「ごくらく耳 越後だより」をはじめとするエッセイ集です。小学4年から中学卒業までの多感な時期を長岡で過ごした著者が、当時の思い出や日々の出来事、創作活動のあれこれを綴っています。標準語と長岡弁のバイリンガルを自認し、「故郷と呼べるのは、この時期の、この土地だけ」と断言する著者。長生橋、悠久山、栖吉川、鋸山といったローカルな地名が随所に登場することもあり、著者に親しみがわき身近な存在に思えてきます。

長岡を舞台にした作品は「蜜の花」という短編のみと本書の中で述べています。長岡に愛着が無いわけではなく、あえて別の土地（山形や富山）に舞台を移して書く方がフィクションとして自由に想像をふくらませることができるとか。長岡での出来事を基にした短編小説をいくつも書いているそうなので、これらの作品も読んでみたくなります。

（渡辺 恭子）

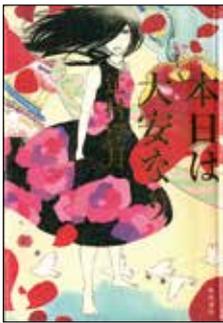


草木が芽吹き、新緑の葉が茂る春。  
心機一転、新たな気持ちで迎えたい季節ですね。  
図書館で新たな一冊との出会いはいかがでしょうか？

# はじまり



『窓の向こうのガーシュウィン』 宮下 奈都／著 集英社  
幸せを感じると同時に、それが壊れることを考えてしまう。でも、「ありがとう」「ごめんなさい」「おかえり」を心から声に出して言えた瞬間、ゆっくりゆっくり歩いて行こうと決めました。彼女の人生は、今、始まったばかりです。（竹野 温子）



『本日は大安なり』 辻村 深月／著  
（株）KADOKAWA 角川書店  
大安の日曜日、とある老舗ホテルのウェディングサロンでは、4組の結婚式が行われようとしています。新郎新婦、親族、サロンスタッフ…、幾人もの想いが交錯し、思いもよらない展開に…！人生最大の門出、結婚式の物語です。（金安 麻子）



『ボブという名のストリート・キャット』  
ジェームズ・ボーエン／著 服部 京子／訳 辰巳出版  
薬物中毒のジェームズと野良猫のボブ。二人の出会いは偶然か必然か？暗闇だった男の人生を一匹の猫が変えていく奇跡のノンフィクション作品です。かけがえのない存在との出会いは突然にあるかもしれません。（大塚 望美）



## 『似ていることば』

おかべ たかし／文 やまで たかし／写真 東京書籍  
皆さんは覚えているでしょうか。国語の授業での混乱のはじまりを。それは「同音異義語」。その曖昧さを現在まで抱え込んでいる方はぜひ一読を。写真と簡潔な言葉によって長年のモヤモヤがすっきりすること請け合いです。（山田 紀子）



『ご先祖様はどちら様』 高橋 秀実／著 新潮社  
自分のルーツはいったいどこに……？人類の普遍的な問いに対する答えを探して、あちこち訪ね歩いた著者が最後に得たものとは。自分が今ここにいることの不思議さに思いを馳せずにはられない、体当たりノンフィクション。（尾木 茜）



\* 「図書館の窓から」内で紹介した本は、中央図書館一般コーナー入口付近に展示しています。ぜひご利用ください！

イベントガイド（4月～6月） ※全て参加無料

【映画会】 中央図書館2階 講堂 14:00～

- 4/12 (日) 「そして父になる」(2013年 日本) 121分  
 4/28 (火) 「黄色いリボン」(1949年 アメリカ) 104分  
 5/13 (水) 「天のしずく 辰巳芳子 “いのちのスープ”  
 (2012年 日本) 113分  
 5/30 (土) 《新潟水俣病公式確認から50年》  
 「阿賀に生きる」(1992年 日本) 115分



★アフタートーク★ 16:00～16:30  
 「阿賀に生きる」上映後に、撮影を担当された小林茂さん（映画監督）をお招きし、アフタートークを行います。  
 撮影秘話や、映画への思い等をお話しいただきます。申込不要。

- 6/12 (金) 「ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人」(2008年 アメリカ) 87分  
 6/26 (金) 「ハーブ&ドロシー ふたりからの贈りもの」(2013年 アメリカ) 87分

～ずっとかたわらに本のある暮らしを～

【子ども読書活動推進計画 関連事業】

初心者向け「読み聞かせ 基本のキ」《2回連続講座》

中央図書館2階 講堂 10:00～11:30

講師：高橋啓美（当館司書）

対象：主に保育・教育に携わる方、読み聞かせ初心者の方

①5/24 (日) 絵本の読み聞かせ ②6/14 (日) 児童書を読もう

定員：先着180人 申込：5/12 (火) から、窓口・電話で受付

長岡市子ども読書活動推進計画



～ずっとかたわらに本のある暮らしを～

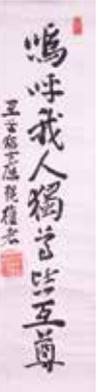
図書館ニュース

「ながおかネット・ミュージアム」に野本恭八郎の書を追加！

中央図書館では、所蔵する貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブ「ながおかネット・ミュージアム」としてインターネット上に公開しています。

このたび、長岡の図書館の父と言える野本恭八郎の書作品を新たに追加し、現在11点がご覧いただけます。

長岡の文化遺産ともいえるべき貴重な資料が、スマホやPCから、いつでも気軽に、鮮明な画像と解説等でご覧いただけます。ぜひご利用下さい。



ご覧になるには、「ながおかネット・ミュージアム」で検索していただくか、「長岡市立図書館」ホームページのトップページ・バナーからお入り下さい。



野本 恭八郎  
(1852-1936)

号：互尊。小国の豪農・山口家に生まれ、渡里町の商人野本家の養子となる。「互尊独尊」思想を提唱。市民のため、長岡初の公立図書館の、大正記念互尊文庫の創設資金・維持費として私財を寄付した。

● あとがき ●

特集ページで図書館の新システムについて紹介させていただきました。私たち職員も早く慣れてサービス向上に努めていきたいと思っております。

この「図書館の窓から」も、次号から少し形を変えてお届けする予定です。今後ともご愛読をお願いいたします。(S)

平成27年4月1日発行

編集・発行 長岡市立中央図書館

住 所 新潟県長岡市学校町1-2-2

編 集 員 長瀬 貴子 山本 祐子 諏佐 志保  
大関 健人 高橋 知香 若月 綾

メールアドレス lib@city.nagaoka.niigata.jp

HPアドレス http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

印 刷 北越印刷株式会社

名 称	電 話	休 館 日
中 央 図 書 館	32-0658	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日（土日祝と重なった場合は開館） ※5/7(木)は特別開館
互 尊 文 庫	35-7981	
西 地 域 図 書 館	27-4900	毎週木曜日（祝日の場合は翌日）
南 地 域 図 書 館	30-3501	毎月の末日（土日祝と重なった場合は開館）
北 地 域 図 書 館	22-7100	
中之島地域図書館	61-2165	
寺泊地域図書館	75-5159	毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
寺泊地域図書館 大河津地区図書室	0256- 97-2497	毎月の末日
栃尾地域図書館	53-3005	
文 書 資 料 室	36-7832	毎週木曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日
栃 尾 美 術 館	53-6300	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※展示替等による臨時休館あり